

II サブスペシャリティ領域

1 コース名

小児血液・がん 専門医コース

2 プログラムの特徴

2年間の卒後初期研修後、小児科専門医および小児血液・がん専門医を養成する臨床プログラムです。この2つの専門医コースは並行して研修可能ですが、小児科専門医の取得後に小児血液・がん専門医の受験資格が得られます。小児科医としての基本能力を習得すると共に、小児血液・がん領域の深い能力の習得を目指します。

3 到達目標

- 1)小児血液・がん領域に関する幅広い知識と経験および錬磨された判断力と技能を備えた臨床医を養成し、小児血液・がんの子ども達に質の高い専門医療を提供することを目標としています。
- 2)正常小児の発育発達と小児疾患全般に対する知識と経験を習得し、小児疾患に対する基本的対処ができます。

4 プログラムの概要

(1)修得項目

【4年目】

- 1)小児科領域全般にわたる診療、検査と患者および保護者との信頼関係を構築し、小児血液・がん専門医療の実践する。
- 2)がん化学療法と副作用を理解し、診察と検査データをもとにした適切な支持療法を理解する。
- 3)輸血療法に関する十分な理解と実践ができる。
- 4)造血細胞移植におけるドナーとレシピエントのコーディネートについて理解し、骨髄採取、末梢血幹細胞採取に参加する。
- 5)1回以上の学会発表をする。

【5年目】

上記に加えて

- 1)治療計画に従ったがん化学療法ができ、副作用に対する適切な予防と対処ができる。
- 2)がん救急に対する適切な対処ができる。
- 3)骨髄採取、末梢血幹細胞採取ができる。

【6年目】

上記に加えて

- 1)各種疾患に対する造血細胞移植の適応を理解し、指導医と共に治療計画を立案することができる。
- 2)造血細胞移植患者の適切な管理ができる。
- 3)癌患者の緩和医療、ターミナルケアができる。
- 4)がん治療認定医または血液専門医を取得する。

(2)指導体制(指導医数)

3人

5 受け入れ可能人数

5人

6 修了後の主な進路

造血細胞移植認定医の受験資格を得ることができ、国内外留学、当施設スタッフとして、基礎研究と臨床に従事することができる。また、国内外の専門施設で臨床に従事することができる。

関連研修施設

小児血液・がん専門医

